

平成29年度 第2回 自己点検自己評価に基づく学校の改善対策と学校関係者評価(平成29年12月実施)

(1)教育理念・目標・育成人材像など

項目	設問	職員アンケート	学校としての改善対策
教育理念	教育理念・教育目標が定められ、教職員、学生、学校関係者に浸透している。	<p><b>3項目ともほぼ適切という意見</b> 「フレンドリーな学校」として勤めている 挨拶やマナーなど少しずつであるが方向づけられている</p> <p><b>教育理念</b> 教育理念や教育目標をもっと平易な言葉で学生に話す機会をもったらどうか</p>	<p><b>学校の特色について</b> 職員の個性もあるので「親しみ」と「フレンドリー」を統一することは難しい。 新年度のオリエンテーションで学生に配布する「留意事項」を再確認してほしい。</p>
学校の特色	職業教育の特色について、教職員、学生、学校関係者に浸透している。	<p>教育目標や職業教育の特徴など、掲示物や「明るく楽しい学校」に記載されてはいるが、理事長・校長から学生に直接話してもらう機会があるといいと思う 教育の理念について、まだ理解しきれていない部分がある</p> <p><b>学校の特色</b> 「フレンドリーな学校」としては他校に引けを取らないと思うがそれに伴い言葉遣いが最近乱れてきていると思う</p> <p>学校の特色「フレンドリーな学校」とあるが、友達とのフレンドリー、学生と先生とのフレンドリーの関係性をもっと明確にすべきである</p>	<p><b>教育理念・教育目標について</b> 校長が配布した冊子「明るい学校」によって、教育理念や教育目標は学生に話している。</p> <p>今後、校長より研修資料を出すことにする</p>
育成人材像	育成人材像が業界のニーズに向けて方向づけられている。	<p><b>育成人材像</b> 本校の指導が真に業界のニーズに向けて適切かどうか、業界のニーズの実際の事柄を知る必要がある 社会の動向を的確につかむ努力をする</p>	
学校関係者評価		<p>教育の理念、学校の特色、育成人材像の内容の詳細がわからない。 卒業生が学校を訪ねてくるなど、学校の特色の現れであると思う。 フレンドリーさに問題があるのかもしれないが、挨拶やマナーなど再度確認し指導しながら育成していければよい。 学生、先生方が育成人材像をはっきり理解していないし、その人材像に向けての努力があまり見られない。</p>	

## (2) 学校運営

項目	設問	職員アンケート	学校としての改善対策
年間事業計画	運営方針に沿った事業計画が策定されている。	<p><b>年間事業計画</b> 運営方針については整っていると思われる</p> <p><b>運営組織および意思決定機能</b> 意思決定システムが整備されている 運営組織の整備と決まりをお互いに理解する 運営組織は明確であるが、仕事の種類・量が適切ではない</p> <p><b>就業規則について</b> 査定されているという説明があったが査定基準が不明瞭なので開示してほしい 就業規則を文章化して職員に配布してほしい 残業とみなすのは何時からなのかわからない 残業手当をつけないということを就業規則に明記されていない</p>	<p><b>運営組織について</b> 災害時の対応は職員のLINEグループを作成し、緊急時の連絡網とする。また、災害時の対応について、理事長・校長とで研究する。ただし、天候不順による公欠はなるべく避けたいのが事実だ。</p> <p>査定は理事長がしている。開示はしない。</p> <p>就業規則は一度配布してあるが、もう一度回覧し必要な方には複写してもらおう。 残業とみなすのは18時以降。</p>
運営組織	運営組織や意思決定機能が明確化され、意思決定システムが整備されている。	<p><b>人事について</b> 理事長が適正に判断している 仕事の内容および量について見直すべき (学生募集に係る資料、ポスターなどオープンキャンパスも含めて広報の仕事ではないか) 時期により仕事の量が多くなる部署があるのが平均化できないものか</p>	<p>仕事の内容や量について、決められた組織があるのだから、今後「広報の仕事」であるべきものは移行する。</p> <p>すべての仕事量が完全に平均化はできるものではないが、平均化ができるように調整していく。</p>
就業規則	人事・給与などに関する規程は整備されている。		
学校関係者評価		かなり良いと思われる。	

## (3)教育活動

項目	設問	職員アンケート	学校としての改善対策
カリキュラムの編成	授業計画(シラバス)を作成し、学科の各科目はカリキュラムの中で適正に位置付けされている。	<p><b>全体的に</b> よりよい教育活動を目指して取り組みを強化する</p> <p><b>カリキュラムの編成</b> 授業計画(シラバス)はここ数年よくなってきている 学生の基礎的な技術や知識があまりに身につけていない者がいる</p>	<p><b>カリキュラムの編成について</b> 授業の内容について、どのようにしたらより学生の技術向上につながるか、製菓・調理の各学科内でより検討して職員会議にあげてほしい。(校長)</p>
授業評価体制	授業評価の実施、評価体制がある。	<p>企業に就職し実際に働く時のために、接客方法、フルーツカット、絞りやケーキカット、巻き取りなどの内容を取り入れた方が将来的に良いと思う (反復練習が必要であり、限られた授業時間数の中で難しい問題でもある)</p> <p>2年制の製菓技術経営科と1年制の製菓衛生師科の授業内容がほとんど同じなのはどうかと思う 特に基礎技術について再編成すべき</p>	<p><b>授業評価について</b> 今年度は色々な話を耳にし、実施していない。来年度は実施する方向で努力する。(校長)</p>
教員の確保	人材育成目標達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保している。	<p>1年しか授業がない製菓衛生師科の学生に長期間に渡ってコンクールのマジパンをさせたり、学園祭で販売するケーキや焼き菓子をやらせるのはどうかと思う もっと身に付けさせるべき技術が他にあるのではないか</p> <p><b>授業評価体制</b> 授業評価そのものは、学生が教職員に対して行うのか、教職員がお互いに評価するのか決まっていらないように思う 今年度は授業評価を実施していない</p>	<p><b>職員研修について</b> 時間や費用の問題で参加したい職員研修があってもなかなか申請できないという意見があるようだが、申請していただければいくらでも考慮する。(理事長)</p> <p>職員研修委員会があるので、継続して審議していく。(校長)</p>
職員研修	教員の資質向上のため、研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援している	<p><b>職員研修</b> 受けたい研修を受けに行ける勤務体制になっていない また、県外や受講料の発生する研修は参加しにくい</p> <p>今年度は職員研修が少ないように思う 学校に案内が来た研修をあてがうという受け身ではなく、職員が希望する研修を検討すべきだと思う</p>	
キャリア教育	実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法が実施されている。	<p><b>キャリア教育</b> 実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムは実施されているが、教育方法は各自違うと思う (教育方法の内容が明確でない) 先生方がしっかり学生と向き合っている コンクールに出品して受賞することで自信につながっている</p>	
企業との連携	関連分野への学外実習(インターンシップ)、企業と連携した実技実習が体系的に位置付けられている。	<p><b>企業との連携</b> 十分にされている インターンシップの受け入れも毎回スムーズになり学生も良い体験につながっている</p>	
学校関係者評価		製菓のコンクールに入賞することは大切なことだが、それ以上に実社会に出て通用する技術や知識をもっと授業に取り入れるべきではないか。企業が求める人材に向けての育成にもう少し力を入れてほしい。	

(4)教育成果

項目	設問	職員アンケート	学校としての改善対策
資格取得率の向上	<p>取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にし、資格取得のための支援がなされ、合格率の向上が図られている。</p>	<p><b>資格取得率の向上</b>            取得率の向上が図られている よいと思う            受験対策を実施し、今年は合格率100%と大変向上が図られている            国家資格である製菓衛生師100%合格は成果を出している</p> <p><b>就職率の向上</b>            よいと思う            求人する企業の募集条件と応募する学生側の要望が合致しない場合もあり大変だと思う</p>	<p><b>資格取得率・就職率について</b></p> <p>製菓衛生師合格率100%達成したことは、福井受験や受験対策の授業などの結果である。</p> <p>就職率はよいが、全国的に早期離職率が高いことも現実としてあるので、在学中の教育が大切だである。            来年度は、複数の企業に集まっただいてブースを設け、企業の採用担当者に直に企業の特徴をPRしてもらう機会を設けたい。</p>
就職率の向上	<p>専門分野と関連する業界等の求人情報や学生の就職活動を把握し、就職率の向上が図られている。</p>	<p>今年は早い時期から就職内定者が多くて良いと思う</p> <p>求人倍率だけ見ると売り手市場のように見えるが、給与面社会保障は決して良いわけでない            今後、県外への就職または大手傘下の企業への就職を考えていかなければならない</p> <p><b>技術力の向上</b>            各部門別にみても、年々向上しているものと思われる</p>	<p><b>技術力の向上について</b>            コンクールに向けてだけでなく、就職してから役立つ技術力やマナーを教育しなければならない。            カリキュラムの編成同様各学科で検討する。</p>
技術力の向上	<p>基礎技術力を確実に身に付け、さらにコンクール出品を目指す学生への指導がなされている。</p>	<p>コンクールに入賞することも大切だが、もう少し就職してから役立つ基礎技術(ナツペ、絞り、フルーツカットなど)を身につけさせることも大切だと思う</p> <p>技術向上は大事だが、業界の求めているニーズも大事にする必要がある</p>	
学校関係者評価		<p>努力されていると思う。            製菓や調理以外の分野への就職を希望する学生も多少はいる。</p>	

## (5) 学生支援

項目	設問	職員アンケート	学校としての改善対策
進路支援体制	進路指導に関する体制が整備され、有効に機能している。	<p><b>進路指導体制</b> 進路指導は就職活動の支援をするもので、進路決定するのは学生本人である。就職したい企業の選び方がわからなかったり、偏っていたり、自分自身の将来の道を切り開くという思いに欠ける学生が増えている</p> <p>正しい進路決定と就職した企業への愛社精神を育てるために、体制をもっと強化し有効に機能するようにすべきである</p> <p>進路指導は一人ひとりの個性を把握し、適材適所の就職斡旋ができていると思う</p>	<p><b>進路指導・個別相談について</b> 職員会議で準備態勢を整えるべきである。2号館が相談室として使用できるようになっているが、これまで使っていない。使わなければならないような深刻な問題はなかったということか。</p> <p>心のケアの組織体制づくりをする。外部の先生（秋本先生など）の力をお借りする。 教育相談は組織図で担当が決まっている。</p>
個別指導・懇談	必要に応じて、学生の個別指導や相談ができる体制は整備されている。	<p><b>個別指導・懇談</b> 体制はとられているように見受けられる 学生が困った時に、先生方が親身になっていると思う 話やすい言いやすい環境だと思う</p>	<p><b>経済的支援体制について</b> 授業料減免制度や分割払いも支援体制にあたる。 学生ハイツの礼金を無くしていることも経済的な負担を軽くしている。 学納金の分納なども行っている。</p>
経済的支援体制	学生に対する経済的な支援体制は整備されている。	<p><b>経済的支援体制</b> どのようなものを支援体制というのかわからない</p> <p><b>健康管理</b> 保健に、もっと設備も教育もよくする 学生の心のケアの組織体制はない 学生の心のケアについて自分なりに努力しているが、一人ひとりの学生に合った指導方法がわからず悩むこともある</p>	<p><b>家庭との連携</b> 保護者との面談については、年1回と決めず、学生との接触はどんどんすればよい。（校長）</p>
健康管理	健康診断、心のケアなど学生の心身の健康管理を担う組織体制がある。	<p><b>家庭との連携</b> 年1回の三者面談では本音や細部の内容が十分に話せないこともあり、保護者への説明が不十分になりがちである</p>	<p><b>卒業生への支援</b> 在学中には考えが及ばなかった学生に対しても、離職をするということはどういうことなのかよく考えさせ、心がけてアドバイスする。（理事長）</p>
家庭との連携	生活指導、進路指導などで、保護者と適切な連携がとられている。	<p><b>卒業生への支援</b> 卒業生もよく学校を訪問し近況報告をしてくれる</p> <p>昨年から卒業前に「悩んだら必ず相談にくるように」「卒業後も相談にのるから」と伝え続けていた効果があったのか、再就職を考えている卒業生が相談にくることが多くなった</p>	
卒業生への支援	卒業後のキャリアアップ、再就職、進路変更などのための支援ができている。		
学校関係者評価		学生の健康管理について、保健室の整備が必要である。寝具の衛生や備品を完備すべきである。	

## (6)教育環境

項目	設問	職員アンケート	学校としての改善対策
学習環境の整備	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている。	<p><b>学習環境の整備</b></p> <p>今あるものを、より有効に活用する 校舎の老朽化が目立ってきている チェックが必要ではないか 施設設備、器具の老朽化が目立つができる限り修理はしてもらっている</p> <p>グリストラップの清掃やゴキブリ対策を考えてほしい</p> <p><b>危機管理</b></p> <p>法律上の防災設備は設置してある</p> <p>体制は整備されたが、万が一の事が起こった場合、機能するかわからない 3階からの避難ばしごなど老朽化していないか確認が必要と思われる</p>	<p><b>学習環境の整備</b></p> <p>グリストラップの清掃は設備会社に依頼すると10年前で2万円ほど。 学生には衛生面の勉強のため清浄させているが企業にしてもらえないか。 (調理学科長) 勉強のため、学生にさせた方がよい(理事長)</p> <p><b>ゴキブリ対策について</b></p> <p>駆除業者に依頼してはどうか。人体に影響のない薬剤を使用している。 駆除業者に依頼する。(理事長)</p> <p><b>危機管理</b></p> <p>避難訓練について、職員の訓練は実施したが、学生の避難訓練も実施した方がよい。→大がかりなものではなく、LHRを利用して避難場所に連れて行くことも 道順もわかってよい。 学校全体の避難訓練については、継続審議事項とする。</p> <p>設備会社に毎年点検させている。</p>
危機管理	防災、安全管理に対する体制が整備されている。	<p>遠い他県からの入学生のためにも、防災・安全管理がなされていることを保護者に説明ができた らいいと思う 貯水、無洗米、ポリ袋が常時あり、カセットコンロとカセットボンベがあれば、ライフラインが止まっ ても炊飯ができるので、他校との差別化になると思う</p> <p>防災訓練は必要</p> <p>以前から実地の避難訓練をしていないから不安であるとの声があがって いるが実行されない 本当に不可能か考えるべきだと思う</p>	
学校関係者評価		建物自体が古いので、学生の避難訓練はした方がよい。	

## (7) 学生の受入募集

項目	設問	職員アンケート	学校としての改善対策
募集活動	学生募集活動は適正に行われている。	<p><b>募集活動</b></p> <p>職員が一丸となって募集活動に取り組んでいる 募集活動は適正に行われていると思う 時代に適応した募集活動の充実</p> <p>昨年のオープンキャンパスは参加人数の減少がうたわれていたが、そういった心配の中、今年はそれほど目立った減少はないように思われる これは募集活動が適正に行われていたものと思う</p> <p>広報の内容はこれでいいのか</p>	<p><b>募集活動について</b></p> <p>これまでのオープンキャンパスは学校内で実施していたが、他県にこちらから出向いて行っのオープンキャンパスを実施する。</p> <p>毎年同じ内容ではなく、高校生が待つ間に、学校で作成したオリジナルの動画(学生の授業風景など)を流してはどうか。→金額の問題やそれぞれの考えがあり結論は出なかった。</p>
入学選考	入学選考は、適性かつ公平な基準で行われている。	<p>募集活動に当たり、担当者はもっとアピールすべき知識を深めないといけないと思う</p> <p>オープンキャンパスや説明会について、今までと同じではなく、説明の仕方や模擬の内容をもう少し工夫して興味を持ちそうなものを考えると参加人数が増えるのではないか</p>	<p><b>出張模擬授業について</b></p> <p>マジパンばかりに偏りすぎではないか。 実習室が使えない環境だったり時間が短かったりと、「食べるもの」が作れない場合もある。</p>
学納金	学納金は妥当なものとなっている。	<p>オープンキャンパスへの参加人数が減少している 高校で行うデモ実習でマジパンを行うのは楽かもしれないが、もっと高校生が喜ぶ(食べられる)ものを作ってあげた方が良くと思う</p>	
学校関係者評価		募集活動について、学生数が減少している現状を考えると、他の宣伝方法も考えるべきではないか。	

## (8)財務

項目	設問	職員アンケート	学校としての改善対策
財政基盤	中長期的に学校の財務基盤は安定している。	<b>財政基盤</b> 長期展望がわからない <b>会計監査</b> 毎月、会計士が財務について適正か確認している	<b>財政基盤について</b> 学生が減っているのが現実である。(理事長)  一時期のブームは終わった。  色々案や解決策を探すが、効果が出ない。 あがいて真面目に前進していくしかない。(校長)  職業実践専門課程 北陸学院短大との連携の通信授業(製菓) 長期高度人材育成コース(厚生労働省)  <b>会計監査</b> 決算報告書を見ても、内容が理解できない → 質問があれば申し出てくれれば説明する。(理事長)
予算収支計画	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。	特に意見なし	
会計監査	財務について会計監査が適正に行われている。		
財務情報公開	財務情報公開の体制整備はできている。		
学校関係者評価			

## (9)法令等の遵守

項目	設問	職員アンケート	学校としての改善対策
コンプライアンス	各教育活動は、決められた法律に則ってなされている。	<b>法令等の遵守</b> 全体的によりきめ細やかな対応をしていく遵守されていると思う  個人情報保護対策が不十分と思われる  完全な保護は難しいが、連絡先住所録などを翌日まで机の上に放置されたいたり見ることがあるので、職員一人一人が気を付けなければならないと思う また、学生も用事もないのに職員室の出入りがあるので注意しなければならない  職員室は普通に出入りできるので、個人情報はカギのかかる書棚にいれるとか対策した方がいいと思う  自己点検自己評価 定期的に行われている	<b>自己点検自己評価。学校関係者評価について</b> これまで、自己点検評価について職員の課題だけをまとめて、職員間での意見交換や改善対策をあまりせず、学校関係者評価委員会に提出していたが、可能な限りの改善対策を考え学校関係者の方々のご指導を仰ぎたい。  書棚を購入する。
設置基準	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。		
個人情報保護	個人情報に関し、その保護のための対策がとられている。		
自己点検自己評価	自己点検、自己評価の実施と問題点の改善を行っている。		
学校関係者評価公開	学校関係者評価委員による評価をHPで公開している。		
学校関係者評価		役員総会でしかわからないが、財政基盤はしっかりしていると思われる。	



(10)社会貢献・地域貢献

項目	設問	職員アンケート	学校としての改善対策
教育資源・施設の活用	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている。	<b>教育資源・施設の活用</b> 一部の学生は、長土堀文化祭やおやじの会に参加しているが、参加する学生に偏りがあると思う <b>学生ボランティア</b> 難しい部分もあるが、可能な限り実施していると思う	<b>学生ボランティアについて</b> LHRを利用して身近なボランティアに取り組む。  LHRはどのような形で実施してるのか。(校長) 調理師科は計画を立てて実施している(調理学科長)
学生ボランティア	学生ボランティア活動を奨励、支援しているか。	今年は製菓の1年生で近辺のゴミ回収をしてきた町民の方からお礼の声をかけていただいた  身近なことからの取り組みを考える  押し付けではなく、実施できそうなことを話し合う必要がある  学校として学生ボランティア活動を支援しているわけではないから、現実的に考えてできないのではないか  時間的に難しいと思う	
学校関係者評価		学生ボランティア活動支援は現実的に難しいのか。学生自身の心をボランティアをやってみたいと思わせるように教育できないものか。	